

縦目地用ゴムジョイント タテメジャー

タテメジャー材料仕様

■ゴム

項 目	単 位	規 格 値		試 験 方 法
		表層ゴム部	受け台部	
引 張 強 さ	N/mm ²	15.0以上	15.0以上	JIS K 6251
伸 び	%	250以上	400以上	
硬 さ	—	A70±5	A50±5	JIS K 6253
老 化 試 験	引 張 強 さ	N/mm ²	13.0以上	JIS K 6257 (70°C×100時間)
	伸 び	%	200以上	
	硬 さ 変 化	—	10以下	
圧 縮 永 久 ひ ず み	%	25以下	25以下	JIS K 6262 (70°C×24時間)

※ゴム物性値については、変更する可能性があります。

■鋼材 (JIS-G3101) 2種 (SS400)

一般構造用圧延鋼材 SS400 (JIS G 3101)

■シーラント

区 分	タ イ プ	色 調	比 重	硬 度	材 質
止 水 用	2液性	黒色	1.2±0.1	A40±10	ポリウレタン系
プラグホール用	シーラントT	黒色	1.0±0.1	A65±10	ポリウレタン系
試 験 方 法			JIS K 6268	JIS K 6253	

取付施工例



(溶接配筋中)



(完成)

ニッタ株式会社

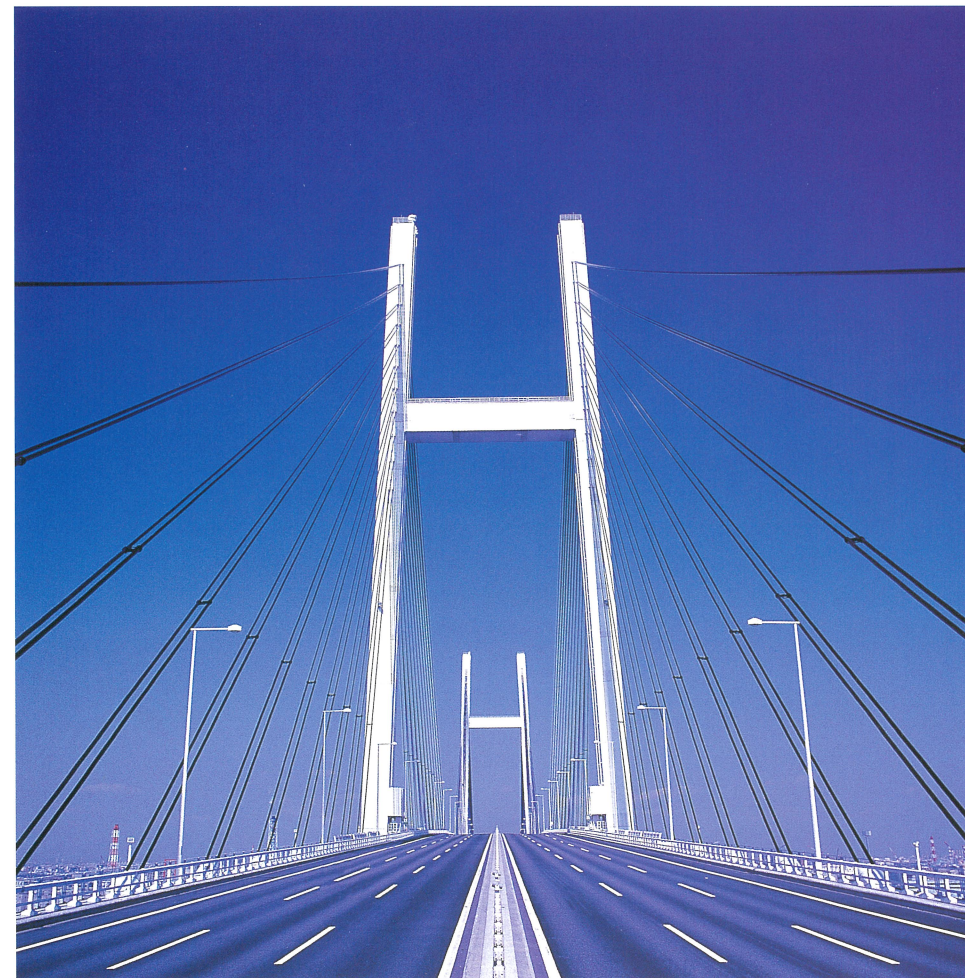
本社 〒556-0022 大阪市浪速区桜川4-4-26 TEL06-6563-1251 FAX06-6563-1252

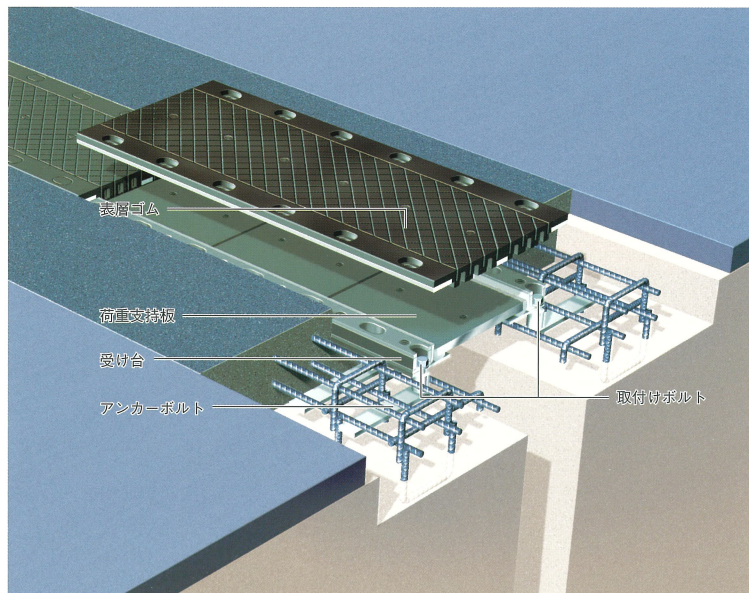
00102 14043000

東京支店 〒104-0061 東京都中央区銀座9-2-1 TEL.03-6744-2715 FAX.03-6744-2716

代理店

福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-28-2 TEL.092-473-6651 (代) FAX.092-474-2658





フレキシブルな動きが、快適な走行を生み出す。

車社会の現代、特に都市部における交通量の増大、渋滞の慢性化を解消するため、高架橋においてランプ部の増設、車線の拡幅が頻繁に行われています。既設橋梁部と新設橋梁部では、構造の違いにより伸縮度合いが異なり、その取り合いに縦目地用のジョイントが必要とされています。ニッタ株式会社は、ゴムジョイントで永年培われた実績と、そのノウハウを生かし、現代の高架橋における伸縮装置のあり方を様々な角度から見つめなおした結果、時代に即応した縦目地用ゴムジョイント「タテメジャー」を開発・発売することになりました。走行性のみにとらわれず、安全性をも考慮したこのジョイントは、苛酷な車社会にフレキシブルで、安全で、そして快適な走行性に貢献するものです。

タテメジャーの特長

● 快適な走行性

段差が発生しやすい縦目地部で、その段差をスムーズに吸収する表面構造から、走行性は快適でハンドリングが取られることもありません。

● フレキシブルな方向性

段差方向はもちろん、橋軸方向、橋軸直角方向や桁の回転など、フレキシブルな動きに追従します。

● 抜群の耐久性

床版部に取付けるアンカーボルト部材と、表面ゴムを取付けるアンカーボルト部材とは、鋼材を用いたダイレクトな取付けだけではなく、ゴム層を介して取付けるため床版コンクリートを痛めません。

● 優れたメンテナンス性

表面ゴム材料は耐久性に優れたクロロプレンゴムを使用しています。将来的に摩耗が発生した場合でも本体のみの交換で、後打ちコンクリートの補修は必要ありません。

タテメジャー仕様

形式	許容伸縮量			標準遊間
	水平相対変化	橋軸直角方向	鉛直段差	
IJ-50	70	40(±20)	50	230

※重量 147kg/m

標準施工図

